

ことになる。このセクションの短絡を称してセクションオーバーという。このセクションの前後に電位差が生ずる場合には、スパーク・異常電圧の発生等いろいろの電氣的障害を併発する場合がある。(佐々木晃幸)

セクションくぶんひょう セクション区分標 電車線の区分箇所を表わす標で、電車線区分標ともいう。

これは架空電車線の断線・接地等の故障の場合、故障した区間への送電をシャ断し、人畜への被害を減少せしめ故障区間を極限し、または列車運転の回復を迅速にするために、電車線のある部分をかぎって他の部分と独立に送電し、あるいは送電を停止し得るように電車線を適当の長さにおいて区画したもので、この区分箇所を標を建植し、列車乗務員および電力係員に知らせるのである。→セクション。(三和達忠)

セクトル (英)sector 電気鎖錠器の鎖錠片または鎖錠セグメント、あるいは単にセグメントを指すもので、これの形から来た通称。

機械のてこを電氣的に鎖錠する鎖錠部の1つで、これの切欠きに鎖錠子が引っかかることによって、この取扱いに制限を加えるものである。

セクトルはクランク・接続かん等を経ててこ部に接続し、てこのラッチを握りまたは離すことによって回転し、鎖錠関係がつけられる。切欠きを1段にした場合を1段鎖錠、2段にした場合を2段鎖錠と呼び、このいずれにするかは鎖錠器が制御する機器によって定められる。

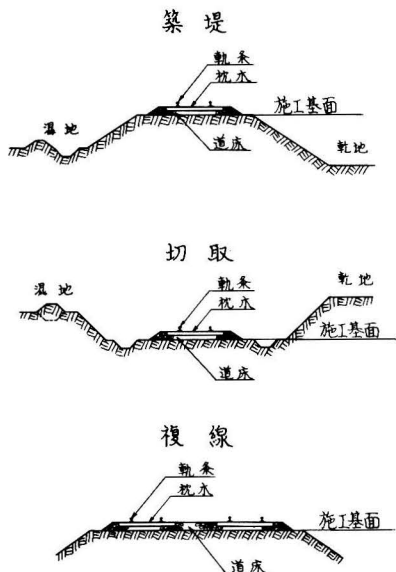
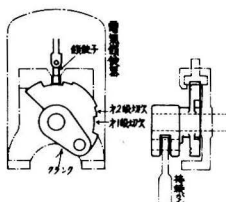
材質は可鍛鉄または軟鋼で、ある程度容易に加工できるが、切欠きを作る場合には、てこのラッチの位置および鎖錠器の接点との関係に厳密な制約が設けてあって、必ずそれによらなければならない。→電気鎖錠器。(尾松広一)

せこうかがい 施行側 鉄道管理局、工事局、工事事務所等工事施行機関で工事を施行するに当たり、その工事の設計および数量・単価・予算ならびに施行方法等につき設計図面・予算書・工事指示方書・請負契約書・請負入札心得書等関係書類を添付し、工事施行箇所長に施行の認可を伺う書類。(藤原孝)

せこうきめん 施工基面 (英) formation level 線路の切取および盛土の仕上面。すなわち軌条面から軌条・枕木および道床の厚さだけ下った面でフォーメーションレベルともいう。

施工基面は線路を建設する場合基準になるものであり、その幅員は上部に敷

セクトル



設する軌道構造を所定の形に保ち、列車荷重を安全に支持できるとともに、線路の補修作業も考慮した寸法であることを要する。

国鉄では施工基面の幅員について、日本国有鉄道建設規程および日本国有鉄道簡易線建設規程で、軌道中心線から施工基面の端までを、つぎの寸法以上にしよう規定している。

甲線 2.40m、乙線 2.25m、丙線 2.10m、簡易線 1.90m。

また国鉄の軌道整備心得では、施工基面の幅員を次表ならびに図のように規定している。

盛土 高さ	線路 種別	甲 線	乙 線	丙 線	簡 易 線
6m 未 満		5,000mm	4,800mm	4,500mm	4,200mm
6m以上 9m未満		5,300 "	5,100 "	4,900 "	4,500 "
9m以上12m未満		5,600 "	5,400 "	5,200 "	4,800 "
12m 以 上		5,900 "	5,700 "	5,500 "	5,100 "

施行基面幅は曲線のカント 50mm をこえない場合は 100mm、50mm をこえる場合は 300mm を中心から外方に増加するものとする。

ここで盛土が 6m 以上の場合幅員を増しているのは、土工の安定その他のためであり、線路が曲線の場合外側のみ広くしているのは、外側軌条を高くする関係上、道床厚さが直線部よりも厚くなるからである。(川崎敏視)

せたなせん 潮棚線 函館本線国縫駅から西方の日本海側にある潮棚に至る 48.4km の線。函館線に属する簡易線。

昭和 4・12 国縫・花石間、昭和 5・10 花石・今金間、終点の潮棚までは昭和 7・11 開通した。(森 節寿)

せちばるせん 世知原線 松浦線肥前吉井駅から東方に位置する世知原駅に至る線。長崎線に属する丙線で、6.7km、途中に 1 駅があるのみである。

昭和 8・10 佐世保鉄道株式会社によって開通したが、昭和 11・10 政府に買収され、世知原線と呼ぶこととなった。(森 節寿)

ぜつえんたいりょく 絶縁耐力 絶縁物に加えた電圧が増大してある値に達するとその絶縁物の内部をとおしあるいは表面に沿って絶縁が破壊される。その限度を絶縁耐力という。絶縁耐力は物質の種類、電極の形、極間距離、電源の種類および周波数、印加時間、温度および湿度等により差異を生ずる。

種 類	絶縁耐力 KV/mm
ガラス	5~10
紙	5~10
ペークライト	10~30
生 ゴ ム	10~20
絶縁用鉱油	24~57
含 浸 紙	20~30

絶縁耐力試験には耐圧試験と破壊試験と 2 つある。耐圧試験は主として製品に課する試験で、一定条件の下に一定の試験電圧を一定時間加えて、異状がなければこれに合格したものとす。破壊試験は主として試料に対して行い、一定条件の下に次第に電圧を上げて破壊に至らしめ、最後の電圧値をよみとり、これを破壊電圧とする。(村田良二郎)

ぜつえんていこう 絶縁抵抗 (英)insulating resistance 電気導体から電流が漏えいしないために用いる絶縁物の高抵抗のことをいい、測定には通常メガーを使用し、導体と他の導体、導体と大地間を測定する。抵抗値の単位はオーム(Ω)が使われる。

絶縁抵抗は温度、湿度、絶縁物の種類、厚さ等によって広範囲に変化する。国鉄においても電気機関車、電車、発電所、変電所、建物内の電気設備等の施設は、この絶縁抵抗を定期的に